

「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクト
<http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport/>

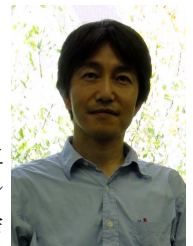
NEWSLETTER

目次：

- 女性研究者支援について P1
思うこと
- 第3回男女共同参画 P1
セミナーを開催
- 女子中高生向け P1
キャンペーン！
- 第3回女子学生キャリア P2
アップ支援コロキウムを
開催
- 女子学生キャリアアップ P2
支援コロキウム（特別
編）・グローバルメン
ター交流会
- 第1回学生メンター講習会 P2
を開催
- 第2回学生メンター講習会 P2
のお知らせ

女性研究者支援について思うこと

工学部教授 大槻 東巳



本学の女性研究者支援プロジェクトは、グローバルコンピタンス（国際競争力）を備えた女性研究者の育成を目的としています。私自身がグローバルコンピタンスをもっているかどうかはさておいて、国際的に活躍する研究者になるためには、

- ・国際的に興味をもたれている分野の研究を行い
- ・査読がしっかりした英文雑誌に発表し
- ・国際会議等に出席し、多くの参加者と議論することが必要です。これらを実現するため、本プロジェクトでは投稿論文の原稿や国際会議での講演原稿の英文校閲を行うサービスを始めました。また、情報発信の一助として、英文ホームページの作成をお手伝いしています。

今、ちょうど国際会議に出席中で滞在先のホテルでこれを書いています(会議に集中しないで雑文を書いている場合かというつつこみはなしです)。会議では女性の参加者も積極的に質問し、活発な議論が行われています。質疑応答は日本人の講演者が最も苦手とするところだと言われていましたが、最近は日本の研究者も臆せず議論に加わっています。こうした姿勢は語学力というよりも研究内容に対する自信に基づいていますが、これだけは一朝一夕では身に付きません。本学の長期的な展望に立った支援が望まれます。

第3回男女共同参画セミナーを開催

7月30日(金)に京都橘大学前学長の田端泰子氏をお迎えし、「日本中世、女性の社会参画」と題して第3回男女共同参画セミナーが行われました。27名の教職員・学生が参加し、中世の女性がどのような形で社会参画していたのかという実情について学びました。中世の女性に対する一般的な見方は、武力がものをいい、合戦が繰り返されていたため地位が低いと考えられていますが、実際は合戦に参戦し、政治に参画し、財産相続を行っていたことを、北条政子の例などを提示しながら講演されました。

参加者からは、「中世の女性の地位は低いと思っていたが、今日の講演を聴いて女性も相応の地位であったことが興味深かった」「男女共同参画を歴史という視点から見るのが新鮮だった」等のコメントがありました。



〔講演を行う田端氏〕

女子中高生
向け
キャンペーン！



7/31~8/1
上智大学オープン
キャンパスに
てちらし配布



8/12~14
「女子中高生夏の
学校2010」にて
ポスター展示

第3回女子学生キャリアアップ支援コロキウムを開催

7月13日(火)に、第3回女子学生キャリアアップ支援コロキウムが行われ、23名(女子学生18名、男子学生2名、女子高校生1名、高校生保護者1名、他大学学生1名)が参加しました。理工学部OGである折原さゆり氏(株式会社三菱化学テクノロジーリサーチ)と井上志磨子氏(ライオン株式会社)を迎え、「私流 化学と仕事と子育て」と題し、それぞれの業務、キャリア・パス、仕事と子育てを両立していくた

めの会社の支援制度や家族のサポート、ご自身が心がけていることについて、日々の所感も交えながら具体的にお話をして下さいました。学生からは、「研究職とリサーチ職の方のお話を同時に聞けて良かった」「将来出産をしたら仕事を辞めることを考えていたが、両立をしているお二人のお話を聞いて辞めてしまうのはもったいないと思った」などのコメントが寄せられました。



〔質疑応答の様子〕

女子学生キャリアアップ支援コロキウム(特別編) ・グローバルメンター交流会を開催

8月2日(月)に物質生命理工学科コロキウムに引き続き、コロンビア大学のNina Berova教授をお迎えし、日米の女性研究者の現状についてフリーディスカッションを行いました。理工学部の林謙介教授が、日本の女性研究者の現状について、研究者に占める女性割合の国際比

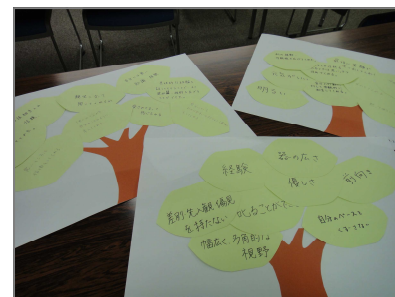
較、女性ポストドクの年齢別の分布等のデータをもとにしながらプレゼンテーションをしました。Berova教授からは米国の現状について紹介があったほか、日米の女性研究者の支援制度等について参加者も交えながら、活発な意見交換が行われました。

上智大学「グローバル社会に貢献する女性研究者支援プロジェクト」
～女子学生キャリアアップ支援コロキウム(特別編)～
～グローバルメンター交流会～
米国女性研究者(運系)とのフリーディスカッション
Professor Nina Berova
Department of Chemistry, Columbia University, New York, USA
2010年8月2日(月)16:50～17:20
12号館102号室
本学理工学部物質生命理工学科コロキウムで著名な女性研究者として「Chemistry Today」で、2009年「Chemistry Today」の表紙に、米国女性研究者の現状について紹介されたBerova教授をお迎えし、日米の女性研究者の現状についてフリーディスカッションを行います。理工学部の林謙介教授が、日本の女性研究者の現状について、研究者に占める女性割合の国際比較、女性ポストドクの年齢別の分布等のデータをもとにしながらプレゼンテーションを行います。Berova教授からは米国の現状について紹介があったほか、日米の女性研究者の支援制度等について参加者も交えながら、活発な意見交換が行われます。

第1回学生メンター講習会を開催

7月22日(木)に、カウンセラーの先生によるメンター講習会がカウンセリングセンターにて行われ、9名の女子学生が参加しました。講義だけでなく、これまで自分が相談にのってもらってよかった相手の特徴を葉の形の色紙に記入し、グループワークでそれぞれの作った“葉”を集めて一本の木にするという作業を行いました。

最初は緊張気味だった学生達も徐々に緊張がほぐれ、和やかにコミュニケーションをとっていました。学生からは、「人の話を聞く姿勢の大切さを学んだ」「メンターをするということは、相談を受けるだけでなく、相談を聞く側にも得ることがあると気付いた」などのコメントがあり、次回開催への期待の声もあがっていました。



〔グループワークで完成させた“木”〕

EVENT ★第2回学生メンター講習会開催のお知らせ★

対象者:女子学生(学部4年生、大学院生)、女性ポストドクター
開催日:2010/9/30(木)
開催時間:13:00～17:00
開催場所:カウンセリングセンター(10号館308号室)
 申し込み〆切:9/29(水) *女性研究者支援事務局までご連絡ください
 講習の内容:メンタリングの心構えと実践について
 カウンセリングセンター長 久田 満 先生
 カウンセラー(臨床心理士) 畠山 朝子 先生

★途中でティータイムがあります♪
 半日講習なのでお茶とケーキで一息つきつつ、講習内容を振り返りましょう★



編集後記
 プロジェクトについて、ご意見や話題などありましたら、事務局までお寄せください。秋からの学生メンター制度実施に向けて、メンター講習会が実施されます。メンタリングの心構えと実践を学び、学生達がメンターとしてデビューする時を楽しみにしながら見守っていきたいと思います。

問い合わせ・連絡先:
 上智大学女性研究者支援事務局
 102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
 場所:10号館3階315室
 電話:03-3238-4052
 mail: wrsswg@sophia.ac.jp
 http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrssupport

